




ラジエータープローブ

Radiator Probe

 ラジエーターの質量流量測定用の使いやすい設計

 対応材料：ステンレス

 一体成型による堅牢な設計

 流れの乱れが少ない設計

仕様

形状	閉塞を最小限に抑える特殊なラジエーター設計
孔数	1つの全圧キールヘッド (Φ1.6 mm) と 1つの静圧ポート (オプションで熱電対付き)
材質	ステンレス
オプション	圧カスキャナ
温度範囲	最大 230 °C

Vectoflowラジエータープローブは、ラジエーターコアにプローブを装備する簡単な方法で、ラジエーターを通過する総質量流量と質量流量分布を測定することができます。ラジエータープローブは、流れの全圧と静圧を同時に測定します。

ラジエーター上に複数のプローブを配置する事で、ラジエーターに割り当てられたセクションを通る部分的な質量流量を測定し、流れの均一性を決定することができます。

プローブは、ラジエーターに取り付け、冷却チューブの前面に正確に配置できるため、閉塞の影響を最小限に抑えることができ、使いやすい。また、プローブを取り外して再利用することも可能です。

デザイン

当社では、ラジエーター・プローブの2つの標準デザインを開発しました。

プローブはアディティブ・マニュファクチャリングで製造されるため、デザイン、サイズ、素材の選択に柔軟性があります。プローブのデザインは固定されておらず、要望に応じて個々の要件に合わせてカスタマイズすることが可能です。

プローブヘッドは、広い入射流迎角範囲 (最大±30°) で全圧力の最良の測定を保証するキール型です。



図1：ラジエータープローブのデザイン (2つの標準構成)

ラジエータープローブの使用例を次に示します。

ラジエーターを通過する高入射流量のマスフローを正確に決定するためには、後方からのアプリケーションを推奨します。

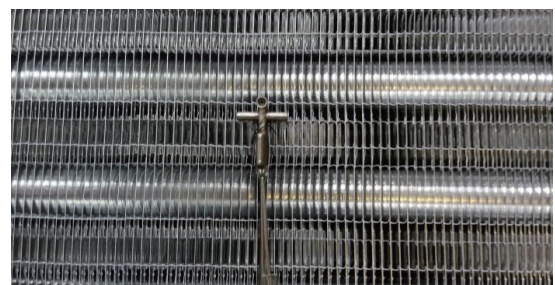


図2：プローブ (S_KPS_qxpkjf) をラジエーターに取り付けた状態

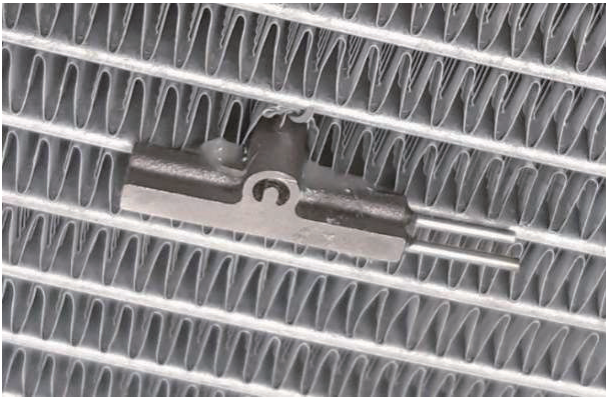


図3：プローブ (S_KPS_bujh36) を
ラジエーターに取り付けた状態

校正

正確なマスフロー計測のためには、ラジエーターに取り付けられたマスフローに対してプローブを校正する必要があります。詳しくはVectoflowまでお問い合わせください。



株式会社大手技研

本社：〒305-0856 茨城県つくば市観音台1-25-12
TEL：029-839-0777 FAX：029-839-2288

テクノロジーセンター：〒305-0856 茨城県つくば市観音台1-25-12
TEL：029-839-0778 FAX：029-839-4488

関西営業所：〒673-0016 兵庫県明石市松の内2-1-8 6F
TEL：078-926-1178 FAX：078-926-1180

ホームページ <https://www.ohtegiken.co.jp>
E-Mail main.sales@ohtegiken.co.jp

